

## 『アジア文化』 投稿規程

『アジア文化』は、アジア、特に東アジア諸国の人文社会科学を主な研究対象とする学術誌であり、特別インタビュー、研究論文、研究ノート、学界情報、書評、書画などにより構成される。

本誌は中国、日本、韓国などアジア地域を研究対象とする人文社会科学の研究者が投稿できるものとする。

投稿論文の採否及び修正要請等の決定は、査読者の判断を踏まえ編集委員会が行う。

投稿締切日から三か月以内に採否の結果、修正要請などを著者本人に連絡する。編集委員会には投稿論文に編集上の修正を加える権利を有するものとする。

図表、手書き原稿等の編集によって生じた費用は、著者側が負担するものとする。

本誌に掲載されたすべての著作物の著作権は本誌に帰属する。転載や翻訳などを行う場合、本誌編集長の同意を必要とするものとする。但し、著者本人の著作物についてはその限りではない。

本誌に掲載された著作物は、本誌が開設するホームページ上で公開する。著者による公開の承認は、本誌へ投稿した時点でなされたものとする。

## 『アジア文化』執筆要領

- 1 原稿作成について
  - (1) wordで作成すること。
  - (2) 本文は日本語、あるいは中国語で執筆すること。
  - (3) 原稿には、タイトル及び400字の要旨を英語と母国語両方で作成しつけておくこと。
  - (4) 3～5語以内のキーワードをつけること。
  
- 2 原稿本文は同じ書体・ポイントで統一すること。日本語はMS明朝の11ポイント、中国語は宋体小四のポイントとする。
  
- 3 注釈の番号表記は、[ ]を用いる。参考文献の番号表記は( )を用いる。注肩数字は、上付文字で1, 2を用いること。注釈と参考文献は文末脚注形式とし、文末に付すること。
  
- 4 日本語の注釈は、引用論文のタイトルは「 」、著書のタイトルは『 』を用いる。初回に引用した論文或いは著書は、著者名、論文名・書籍名、出版社、年代、ページ数を順に記載すること。
  
- 5 中国語の注釈は、初回引用の場合、引用した著作の著者名、論文名・書籍名、出版社、年代、ページ数を記載すること。
  
- 6 論文は日本語の場合、400字の原稿用紙で30枚以内、中国語の場合、6000～12000字以内とする。参考文献、脚注及び図表中の文字も文字数に含める。
  
- 7 原稿には表紙（カバーページ）を付し、著者・執筆者の姓名、所属、住所、電話番号、メールアドレスを明記すること。